



「鉱工業指数」ってなに？！



はいたい、ぐす〜よ〜 ちゅ〜うがなびら。
まだまだ暑いとはいえ、過ごしやすい季節になりましたね。

秋の大きなイベントのひとつ「沖縄の産業まつり」が10/25〜27にかけて那覇市で開催されます。産業まつりの魅力といえば、県産品が一堂に揃い、普段はなかなかお目にかかれないものでも、手に取ったり購入できたりすることですよ！
ところで、県産品を製造する県内製造業の動向を表す統計に「鉱工業指数」があるのをご存じでしょうか？

「鉱工業指数」とは、製造業を営む企業が、どれだけ製品を作ったか・工場から出荷したか等といった生産に係る活動の状況を指数で示したものです。

基準となる年(現在は2015年)を100として、その年(月)と比べて生産量などがどれだけ増えたか、または減ったかを表しています。【表1】

対象範囲は、原材料となる鉱物(石灰石、原油、天然ガスなど)を掘採、採石する鉱業と製品の製造加工などを行う製造工業です。

これらの中から、様々な統計を用いるなどして、代表的な製品を選んで、その数量的な動きを指数にしています。

【表1】 鉱工業指数の動向 平成27年=100.0

項目	季節調整済指数			原指数		
	令和1年 6月	令和1年 5月	前月比 (%)	令和1年 6月	平成30年 6月	前年同月比 (%)
沖縄	90.1	89.9	0.2	81.9	88.3	▲ 7.2
生産						
出荷	82.8	77.9	6.3	74.7	77.9	▲ 4.1
在庫	82.7	80.2	3.1	81.0	78.2	3.6
全国	101.4	104.9	▲ 3.3	101.5	105.5	▲ 3.8
生産						
出荷	99.8	104.0	▲ 4.0	99.5	104.6	▲ 4.9
在庫	104.7	104.3	0.4	105.0	101.9	3.0

(注) 全国値は「経済産業省・鉱工業指数」による。(確報値)

鉱工業指数は、全国についての指数のほか地域別・都府県(北海道は北海道経済産業局が作成)でも作られています。それぞれ、地域の生産活動を代表する業種(品目)を選んで作成・公表しています。

では、実際どのような統計なのでしょう。沖縄県鉱工業指数をみてみましょう。

まず、鉱工業指数では、品目ごとに「ウエイト」が設定されています。主な業種ウエイトは【表2】のとおりです。

ウエイトとは、鉱工業全体に占める品目や業種などの重要度の度合いを示すもので、多数の品目の変化を総合的にみるときに必要なものです(鉱工業全体=10000)

具体的には、生産、出荷など経済活動の基準年(2015年)における金額(付加価値額や出荷額等)の構成比となります。

なぜウエイトが設定されているのでしょうか。

それは、同じ数量(例:1t)の生産でも、品目によって金額が異なり、経済活動への影響が違ってくるため、業種や品目ごとに「重み」をつける必要があるからです。
沖縄県の業種別ウエイトをみると、食料品工業や窯業・土石製品工業(生コンクリートなど)のウエイトが大きいことがわかります。

【表2】

沖縄県鉱工業指数におけるウエイトの高い業種

	生産指数	出荷指数	在庫指数
1位	食料品工業 4534.5	食料品工業 4332.2	食料品工業 3415.0
2位	窯業・土石製品工業 1794.1	化学・石油製品工業 1823.3	化学・石油製品工業 2800.2
3位	金属製品工業 1340.2	窯業・土石製品工業 1377.8	窯業・土石製品工業 1231.9

指数はウエイトを考慮して作成され、「季節調整済指数」と「原指数」として毎月公表されています。

「原指数」とは、毎月の実績値(数量)から計算した指数です。季節的に同じ条件である1年前の月(前年同月)と比べてどうなのかという動向をみるのに使います。

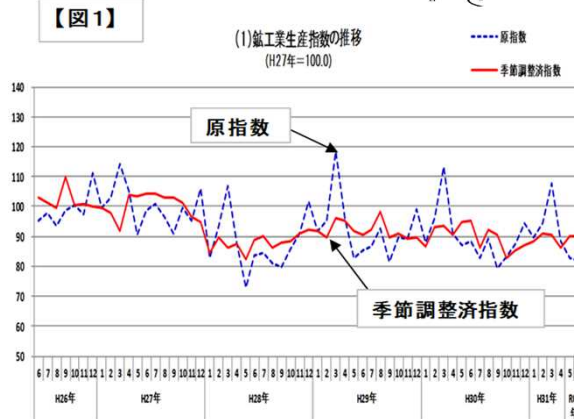
「季節調整済指数」とは、一年を周期として毎年同じように繰り返される季節的な動きを取り除いたものです。

生産活動は季節によりボトムとなる月とピークになる月があるため、単純に前月と比較しても傾向として判断できません。

そこで、前月と比較できるように季節や時期の変動を調整したのが「季節調整済指数」です。

生産指数の推移をグラフでみてみましょう【図1】

原指数ではピークが12月と3月ですが、季節的な要因を除いた季節調整済指数は、比較的なだらかな動きになっていることがわかります。



このように公表された沖縄県鉱工業指数は、主に県内景気動向の経済指標として利用されています。

沖縄県統計課のホームページに、どのような業種・製品の生産・出荷・在庫量から指数を算出しているのかも掲載しています。興味がある方は是非一度、ご覧になってください。

新聞記事やニュースなどとあわせて鉱工業指数をみると、新たな発見があるかもしれません。



沖縄県鉱工業指数

https://www.pref.okinawa.lg.jp/toukeika/iip/iip_index.html

